

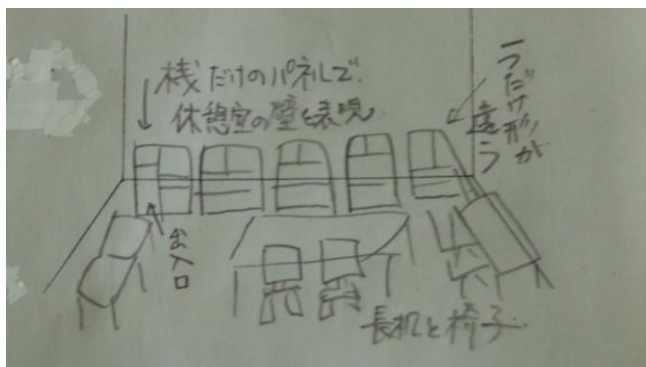
南山高等学校女子部

by us

作:渡辺 鈴

◇概要◇

毎週金曜日に塾の休憩室で他愛もない会話を繰り返していた、中学校からの仲良し六人組。青春真只中の彼らは悩んだり笑ったり、ごく普通の毎日を過ごしていた。しかしある事件をきっかけに、葵は今まで当たり前だと思っていたことが当たり前では無いということに気が付く…思春期の繊細な感覚を高校生ならではの視点から等身大に表現します。



◇メッセージカードより◇

・最初は男か女か分からないなと思っていたら最後に男女の違いについての劇ってわかって、なるほどと思いました。前半はとても面白かったです。私は女子校なのですが女子だけではギャグがうまくできないか思っていたのですが、(これも男に対する偏見ですね)すごく面白くて自分たちが未熟だと感じました。後半で急に雰囲気が変わってびっくりしました。

・最初のシーンからすべてに伏線があることが最後の最後で分かるようになっていたことに最後に分かりました。理解するまで時間がかかりましたが、よく考えてあり、また、考えさせられる話でした。

・普通って何だろう。男と女って何だろう。この劇を見て改めてそう思いました。笑いあり、怖いと思うところもあり、脚本の構成もすごいと思いました。

◇楽屋インタビュー◇

Q1. 題名に込められた思いはなんですか？

A. 「by us」というのは「偏見 (bias)」という意味も込めていて、今回の劇は表テーマが「私たちの青春」としていて、裏テーマは「偏見そのもの」と「私たちによる偏見」という三つのテーマを掛け合わせています。

Q2. ホリゾントの使い方について

A. ホリゾントを使った部分は、妄想の部分で理想の世界を表していて、ホリゾントを使っていない部分は現実の世界を表しています。

Q3. 作品で言いたかったことは何ですか？

A. 今回の劇のテーマがジェンダーで、このことをみんなでも知ってもらいたかったから、取り上げました。一人だけではジェンダーに関する偏見というものを取り除くことは出来ないということをお伝えしたかったです。

Q4. 女子だけの演劇部の特徴はなんですか？

A. 女子だからできないことが多いので女子だけでもできることをすることです。



【速報担当】古倉千聖 酒井杏菜(北陸)

※ 南山高等学校女子部のみなさん お疲れ様でした！！